



忘れてない？
「考えることをあきらめない」

2026 年がスタートしました！

今年一年がどのような年になるのか…期待と不安が入り混じる1月
ちょっと軽く、頭の体操でもどうですか？

久しぶりに本屋さん…

本を読むのが嫌いな私ですが、30代の頃に一念発起。「1年間に12冊の本を読む」と目標を立て、年間20冊以上の本を読むようになりました。しかし、時代の流れか、ネットの情報やSNS、動画などで事を済ませ、しばらく本を読んでいないことに気づき、久しぶりに本屋さんに出かけると1冊の本を見つけました。

あきらめない力

それが、『頭のいい人だけが解ける論理的思考問題』（野村裕之著 ダイアモンド社）。本の見た目で選ぶ私ですが、本の帯には、「本を読まないうちの子が夢中で読んでます」と、今の私にピッタリ。早速、読んでみると…、まあ難しい。本当に子どもが夢中になるのかと思いましたが、悔しさのあまりつい問題を解き進めてしまいました。その問題の一つをご紹介します。

年の初めに「脳トレ」どうでしょう？

著作権の関係で表示できません

さて、みなさんは分かりますか？ ヒントは、「OOだとしたら…」。

今の時代だからこそ

今の世の中、いかに早く多くのことを得られるかという「タイパ」のご時世。困ったときには、ネットやAIに任せることも多く、実際に私も活用しています。しかし、最近私自身、「考える力」や「粘り強く取り組む力」が足りなくなっているなど感じる 경우가よくあります。

考えてもわからないことはもちろんあると思いますが、「できない」「わからない」と言って、すぐ何か頼るのでなく、「考えることをあきらめない」意識を常にもち、粘り強く自分としての答えを出すことが大切だと思います。たとえその結果が「わからない」であったとしても、考えた続けた思考のプロセスは、きっとこれからの役に立つはずですよ。誰かが言ってましたねー。「あきらめたらそこで試合終了ですよ」。